



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月12日

上場会社名 竹田印刷株式会社 上場取引所 東 名
 コード番号 7875 URL <https://www.takeda-prn.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木全 幸治
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営統括本部長 (氏名) 細野 浩之 TEL 052-871-6351
 四半期報告書提出予定日 2020年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	26,093	1.0	234	△33.7	319	△25.7	193	△28.9
2019年3月期第3四半期	25,835	△2.1	353	△21.6	430	△15.3	272	△19.7

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 287百万円 (486.3%) 2019年3月期第3四半期 49百万円 (△91.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	23.86	—
2019年3月期第3四半期	33.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	30,903	15,206	48.8	1,855.25
2019年3月期	31,111	15,023	47.9	1,843.08

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 15,081百万円 2019年3月期 14,899百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
2020年3月期	—	8.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,500	△1.8	400	△32.0	500	△25.3	320	—	39.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 __社（社名）、除外 __社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	8,781,000株	2019年3月期	8,781,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	651,746株	2019年3月期	696,846株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	8,109,246株	2019年3月期3Q	8,067,354株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出や設備投資で弱含みは見られるものの、個人消費の緩やかな増加や雇用環境の改善が続いており、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、米中貿易摩擦の激化による中国経済の減速の影響を受け、製造業を中心に景気の停滞感が強まっており、先行きは引き続き不透明な状況です。

このような状況の中、当社が主力としております国内の印刷業界につきましては、デジタル化の進展による紙媒体の縮小、競争の激化、価格の低迷という構図が長期にわたり継続していることに加えまして、印刷用紙の値上げによる原材料価格の高騰も重なり、大変厳しい状況にあります。

そのような状況の下でも業績を向上させるべく、当社グループでは顧客第一の基本方針のもと健全な危機感を持ち、売上の確保、コスト・経費の削減はもちろんのこと、顧客にとっての価値(顧客価値)を創出する、または増大させる課題解決(ソリューション)提案、すなわち安易な価格競争に巻き込まれないビジネスモデルへの転換を進めております。

その結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間における売上高は260億93百万円(前年同期比1.0%増)となりました。利益面では、営業利益2億34百万円(前年同期比33.7%減)、経常利益3億19百万円(前年同期比25.7%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益1億93百万円(前年同期比28.9%減)となりました。

セグメント別の状況は、以下のとおりです。

(印刷)

印刷事業では、紙媒体が縮小し価格の低迷が続く大変厳しい状況の下、生産性向上やエネルギーコスト低減などのコスト削減活動に加え、顧客価値を増大させるソリューションを提供するビジネスモデルへの転換のための活動、具体的にはシステム構築、データ収集・分析、ロジスティクスサービス、事務局運営、各種BPO、販促イベント支援などのサービスレベルをさらに向上させるとともに、それらを複合的に組み合わせたワンストップソリューションの提供に注力致しました。しかしながら、印刷設備稼働に直結する商業印刷物の受注が伸び悩んだことに加え、原材料価格の高騰も重なり、利益面で苦戦を強いられました。

半導体関連マスク事業では、米中貿易摩擦の激化による中国経済の減速により電子部品市場が低調に推移したため、特にFA機器向けやスマートフォン・タブレット向けの製品にて売上・利益の両面で苦戦を強いられました。

上記の結果、印刷セグメントの売上高は170億28百万円(前年同期比1.7%減)、営業利益は64百万円(前年同期比74.9%減)となりました。

(物販)

物販事業では、高付加価値化や品質・環境性能を向上させた商品の提案、利益率の高い自社ブランド機械の販売強化、新規顧客獲得活動などを精力的に行いました。昨年秋の消費増税の駆け込み需要を取り込みました結果、当第3四半期連結会計期間ではその反動により機械販売で若干の影響を受けましたが、資材販売は引き続き堅調に推移しました。利益面では増収効果に加えて、広告宣伝費や修繕費などの経費削減効果もあり前年同期を大きく上回りました。

上記の結果、物販事業の売上高は95億55百万円(前年同期比1.6%増)、営業利益は1億56百万円(前年同期比64.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産の部は、商品及び製品、仕掛品は増加致しましたものの、現金及び預金、受取手形及び売掛金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ2億7百万円減少し、309億3百万円となりました。

負債の部は、支払手形及び買掛金の減少、一年内返済予定の長期借入金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ3億90百万円減少し、156億97百万円となりました。

純資産の部は、前連結会計年度末に比べ1億82百万円増加し、152億6百万円となり、自己資本比率は48.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績や景況感を踏まえて見直しを行いました結果、2019年5月14日に公表した予想数値を修正しております。詳細は本日(2020年2月12日)付けにて、別途開示いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,633	5,331
受取手形及び売掛金	8,776	7,978
商品及び製品	472	696
仕掛品	330	531
原材料及び貯蔵品	257	265
その他	510	787
貸倒引当金	△81	△67
流動資産合計	15,898	15,522
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,404	3,389
機械装置及び運搬具(純額)	549	472
土地	6,241	6,371
リース資産(純額)	1,136	1,094
建設仮勘定	5	5
その他(純額)	169	195
有形固定資産合計	11,507	11,528
無形固定資産	186	205
投資その他の資産		
投資有価証券	2,192	2,347
繰延税金資産	766	723
その他	668	707
貸倒引当金	△107	△130
投資その他の資産合計	3,519	3,647
固定資産合計	15,212	15,380
資産合計	31,111	30,903

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,201	3,620
電子記録債務	2,889	3,299
短期借入金	870	970
1年内返済予定の長期借入金	612	306
リース債務	336	333
未払法人税等	102	47
賞与引当金	489	226
その他の引当金	17	18
その他	1,121	1,112
流動負債合計	10,641	9,934
固定負債		
長期借入金	855	1,291
リース債務	1,153	1,069
長期未払金	155	150
退職給付に係る負債	3,016	2,973
資産除去債務	201	205
その他	63	72
固定負債合計	5,446	5,762
負債合計	16,087	15,697
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,937	1,937
資本剰余金	1,800	1,795
利益剰余金	11,230	11,294
自己株式	△512	△479
株主資本合計	14,456	14,548
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	618	660
為替換算調整勘定	7	△4
退職給付に係る調整累計額	△182	△121
その他の包括利益累計額合計	443	533
非支配株主持分	124	124
純資産合計	15,023	15,206
負債純資産合計	31,111	30,903

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	25,835	26,093
売上原価	21,071	21,355
売上総利益	4,764	4,737
割賦販売未実現利益戻入額	0	0
差引売上総利益	4,764	4,738
販売費及び一般管理費	4,411	4,504
営業利益	353	234
営業外収益		
受取配当金	42	47
受取賃貸料	14	27
貸倒引当金戻入額	23	16
その他	47	31
営業外収益合計	128	122
営業外費用		
支払利息	22	22
賃貸費用	17	7
その他	10	7
営業外費用合計	50	36
経常利益	430	319
特別利益		
固定資産売却益	16	2
投資有価証券売却益	39	50
その他	0	0
特別利益合計	55	52
特別損失		
固定資産処分損	51	6
投資有価証券評価損	17	14
会員権評価損	—	21
その他	21	9
特別損失合計	89	52
税金等調整前四半期純利益	396	320
法人税等	121	122
四半期純利益	274	197
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	3
親会社株主に帰属する四半期純利益	272	193

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	274	197
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△276	41
為替換算調整勘定	△7	△11
退職給付に係る調整額	58	60
その他の包括利益合計	△225	89
四半期包括利益	49	287
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	46	283
非支配株主に係る四半期包括利益	2	3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント		計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	印刷	物販			
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	17,315	8,519	25,835	—	25,835
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	4	884	889	△889	—
計	17,320	9,404	26,724	△889	25,835
セグメント利益	256	94	351	1	353

(注) 1 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引の消去が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント		計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	印刷	物販			
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	17,026	9,066	26,093	—	26,093
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	488	490	△490	—
計	17,028	9,555	26,584	△490	26,093
セグメント利益	64	156	221	12	234

(注) 1 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引の消去が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。